

令和8年度 全国学力・学習状況調査
児童生徒質問調査の結果
【相模原市】

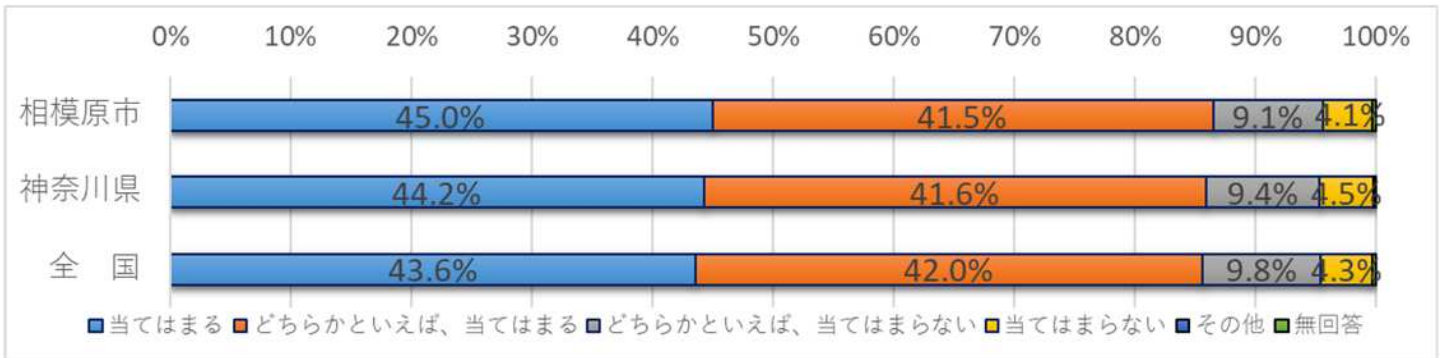


「キャリア教育」に関すること

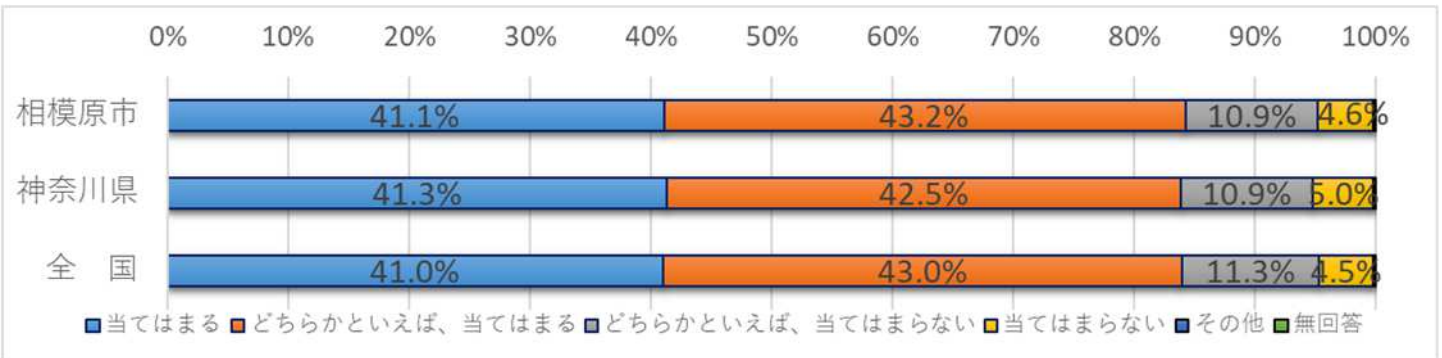
【質問】

自分には、よいところがあると思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 86.5%（全国との差：+0.9%）



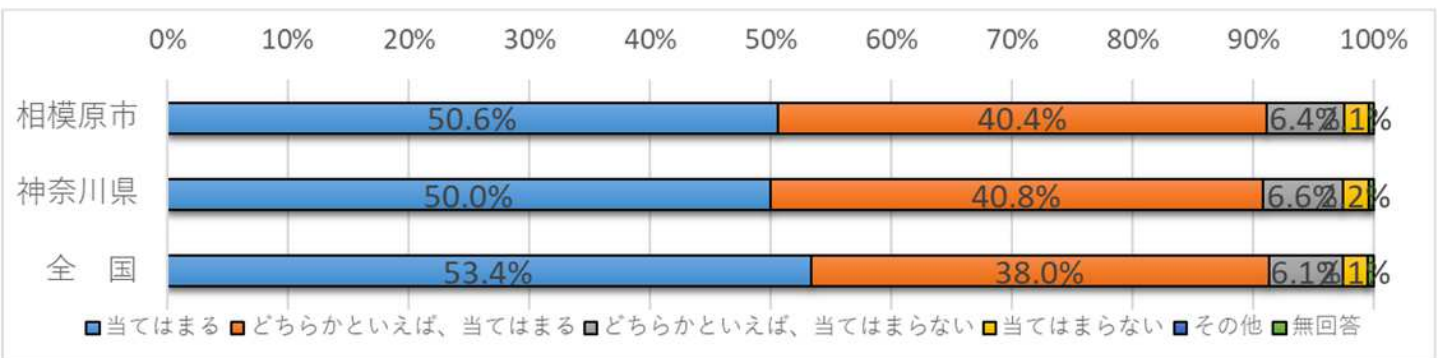
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 84.3%（全国との差：+0.3%）



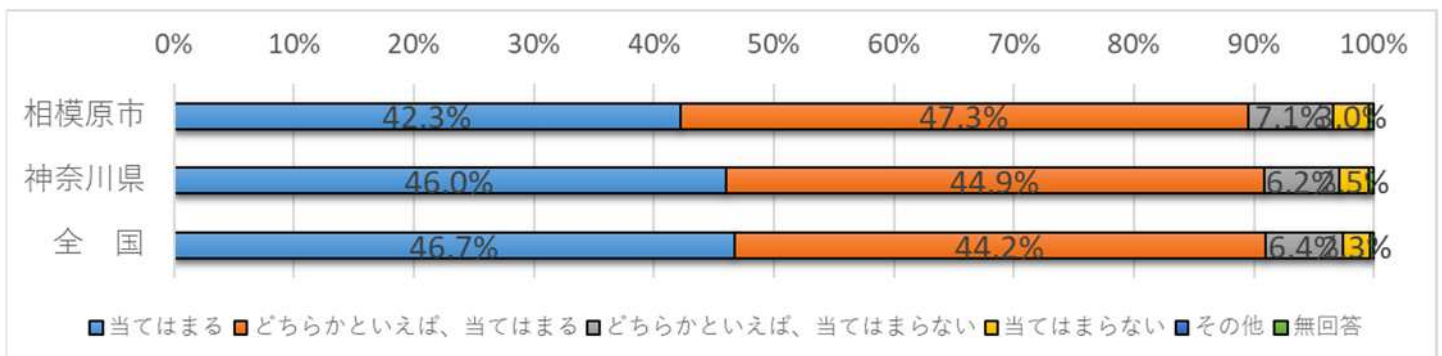
【質問】

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 91.0%（全国との差：-0.4%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 89.6%（全国との差：-1.3%）

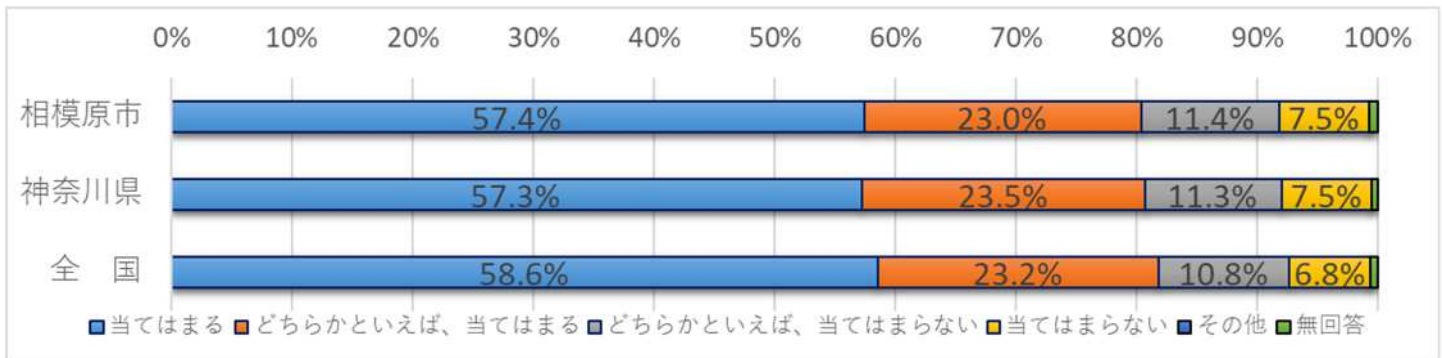


「キャリア教育」に関すること

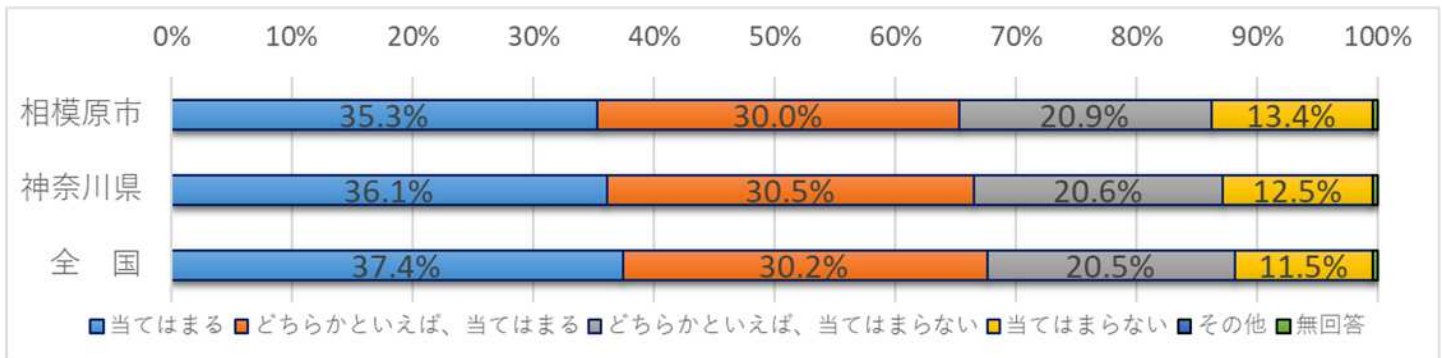
【質問】

将来の夢や目標を持っていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 80.4%（全国との差：-1.4%）



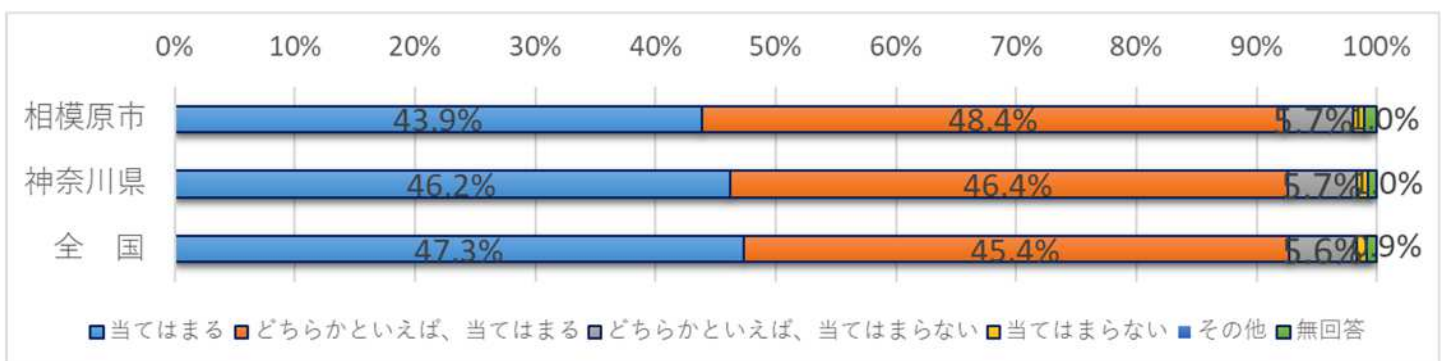
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 65.3%（全国との差：-2.3%）



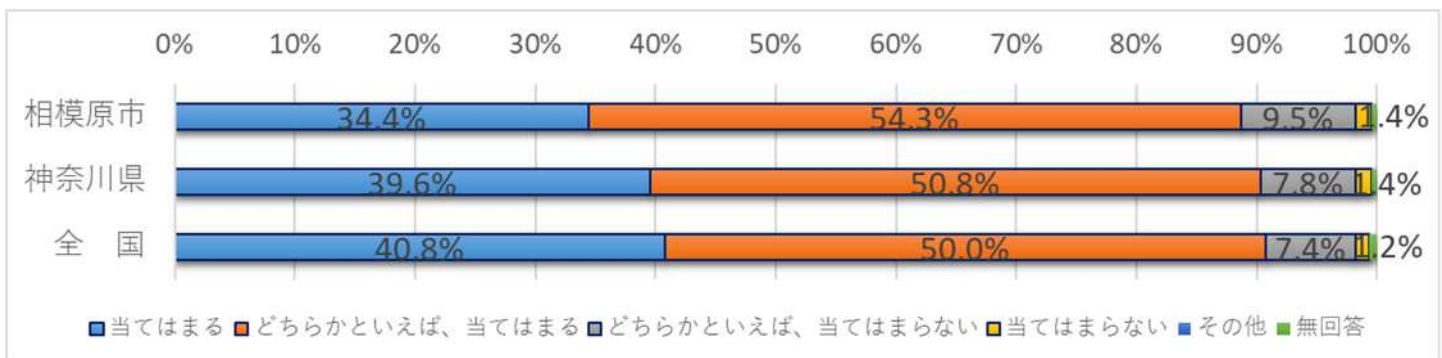
【質問】

人が困っているときには、進んで助けていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 92.3%（全国との差：-0.4%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 88.7%（全国との差：-2.1%）

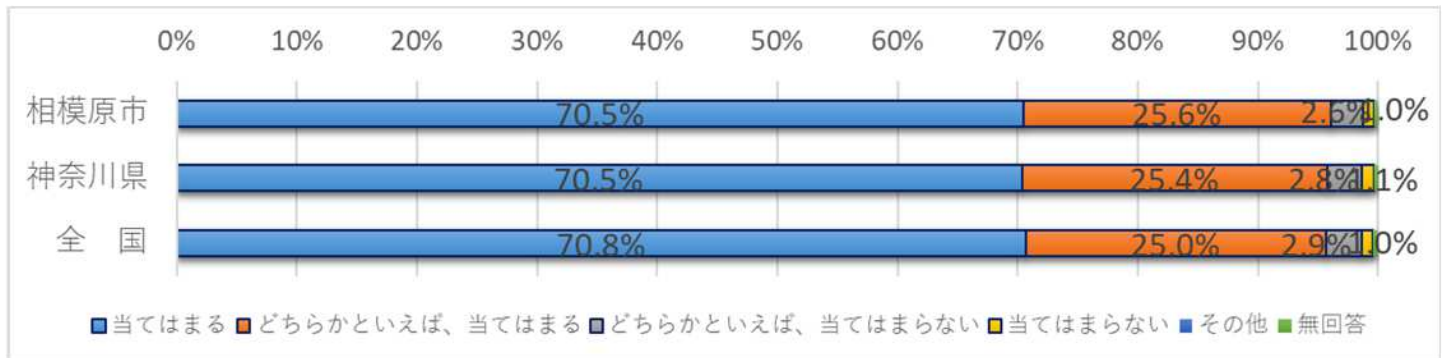


「キャリア教育」に関すること

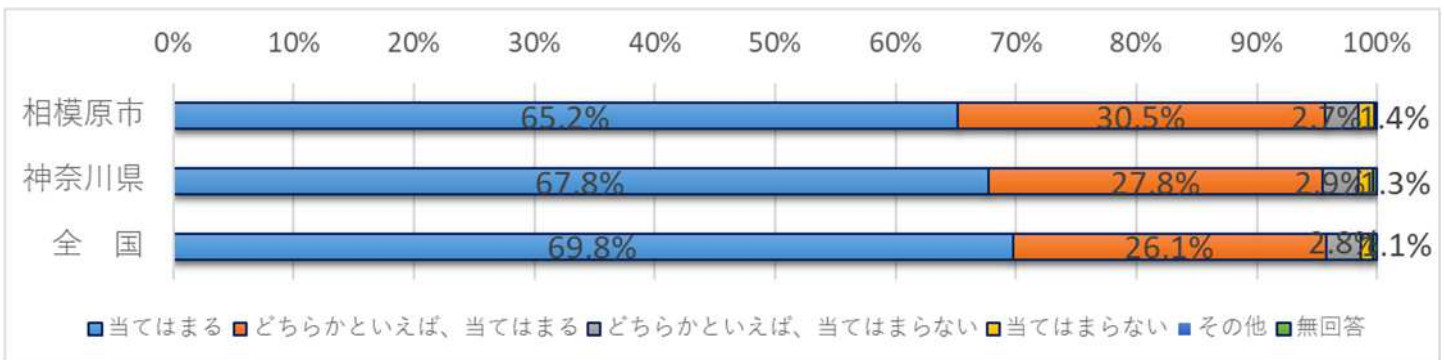
【質問】

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 96.1%（全国との差：+0.3%）



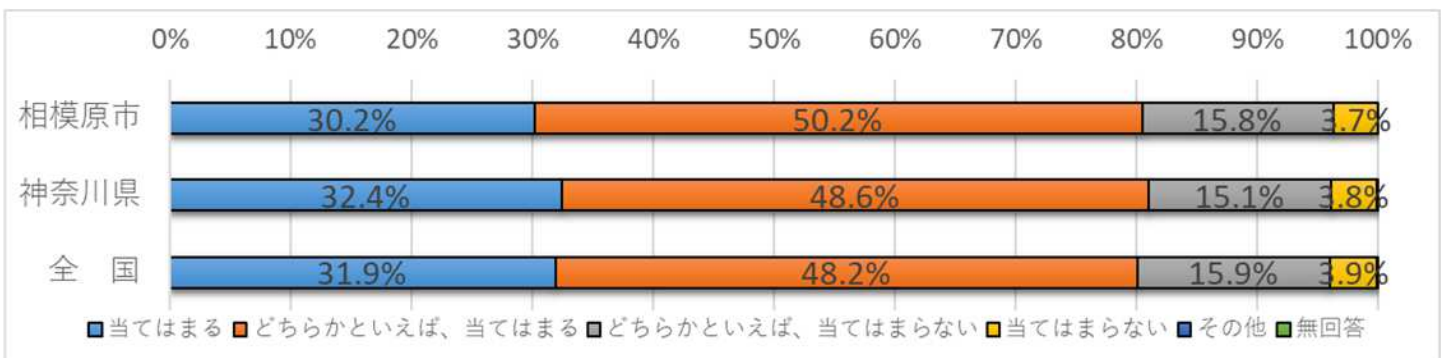
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 95.7%（全国との差：-0.2%）



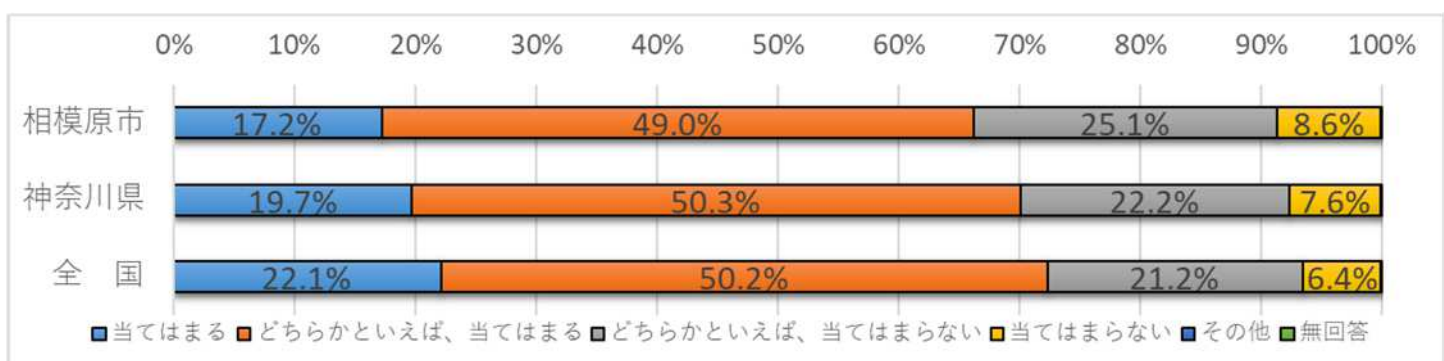
【質問】

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 80.4%（全国との差：+0.3%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 66.2%（全国との差：-6.1%）



「キャリア教育」に関すること

【「キャリア教育」に関わる回答結果より】

○「自分には、よいところがあると思いますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、86.5%、中学生の割合は、84.3%となっており、高い割合を示しています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の質問に対し、肯定的に回答した児童生徒の割合も、90%前後と高くなっており、児童生徒の自己肯定感の高まりに影響を与えていると考えられます。

国の調査※1からは、これら2つの項目の間に中程度の相関関係※2があることが分かっています。周りの大人が児童生徒のよいところを積極的に認め、自覚させてあげることが有効であると考えられます。

○「将来の夢や目標を持っていますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、80.4%、中学生の割合は、65.3%となっています。将来の夢を描くことが難しい児童生徒に対しても、「目標」をもって自分を高めようとする子どもたちを育成できるように働きかけることが大切です。その際、将来生かしたい力や自分の良いところなどについて、考える機会を設けることも考えられます。

○「人が困っているときには、進んで助けていますか。」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、92.3%、中学生の割合は、88.7%となっており、高い割合を示しています。未来の創り手となる小・中学生が、このような意識をもっていることに頼もしさを感じます。

○「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、80.4%、中学生の割合は、66.2%となっています。コミュニティ・スクールの取組等を基に、地域・社会に貢献しようとする態度の醸成を進めていきます。

※1：「令和8年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）」（令和8年8月文部科学省・国立教育政策研究所）

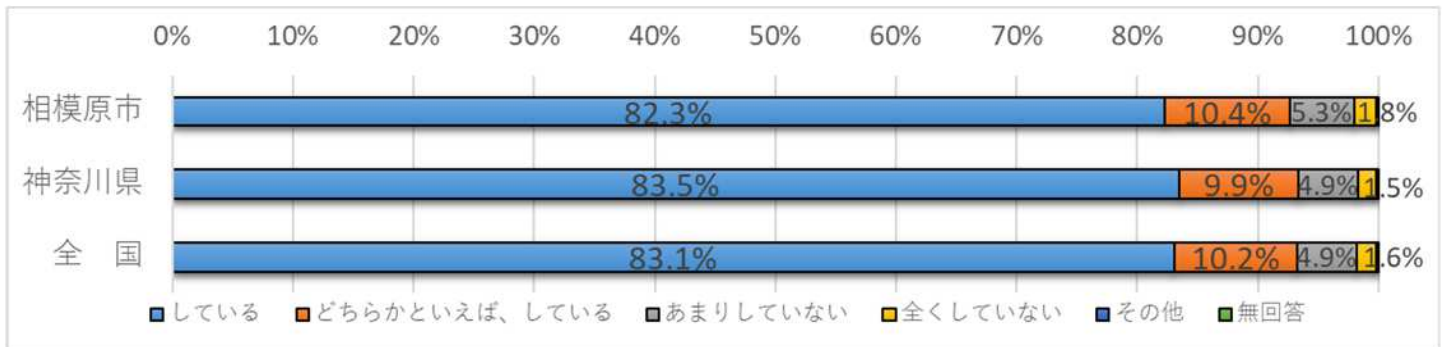
※2：ある事柄が変化したときに、もう一方の事柄も一定の傾向をもって変化する関係性のこと。

「生活習慣・学習習慣」に関すること

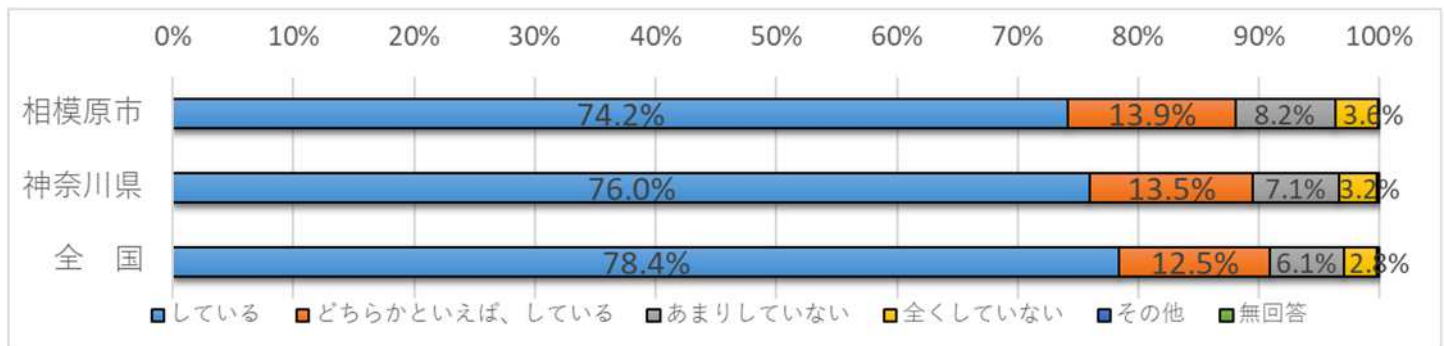
【質問】

朝食を毎日食べていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 92.7%（全国との差：－0.6%）



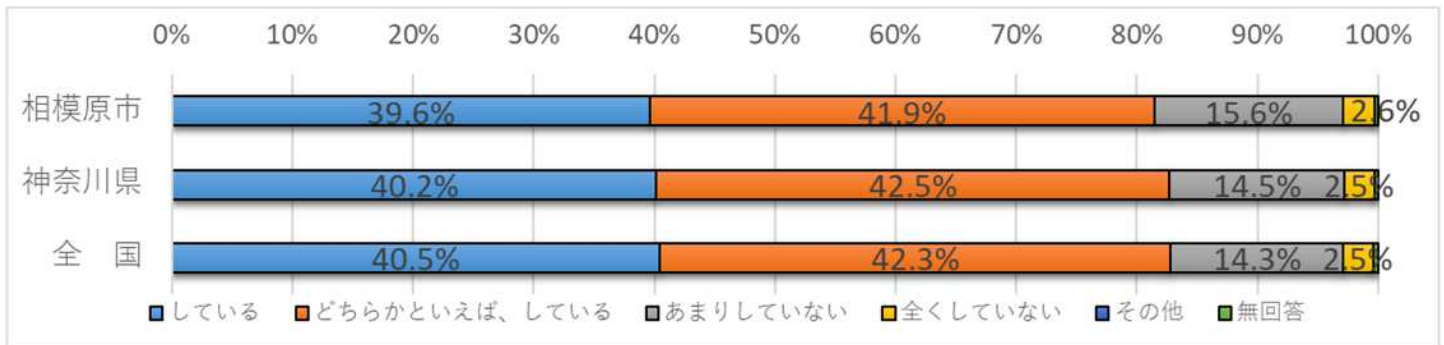
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 88.1%（全国との差：－2.8%）



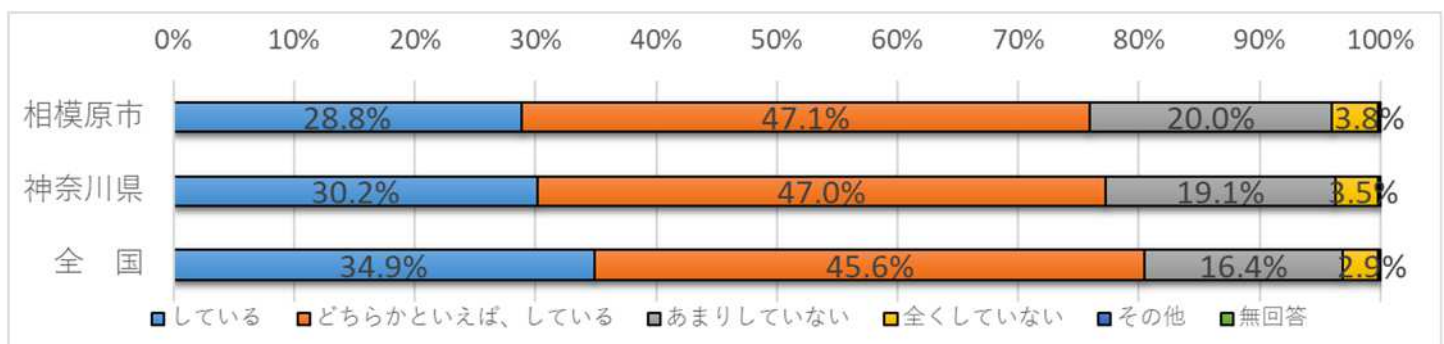
【質問】

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 81.5%（全国との差：－1.3%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 75.9%（全国との差：－4.6%）

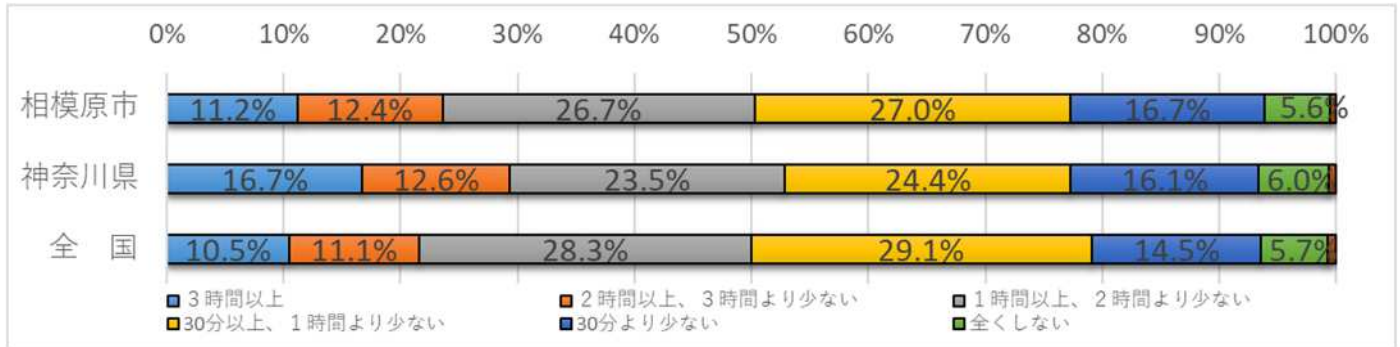


「生活習慣・学習習慣」に関すること

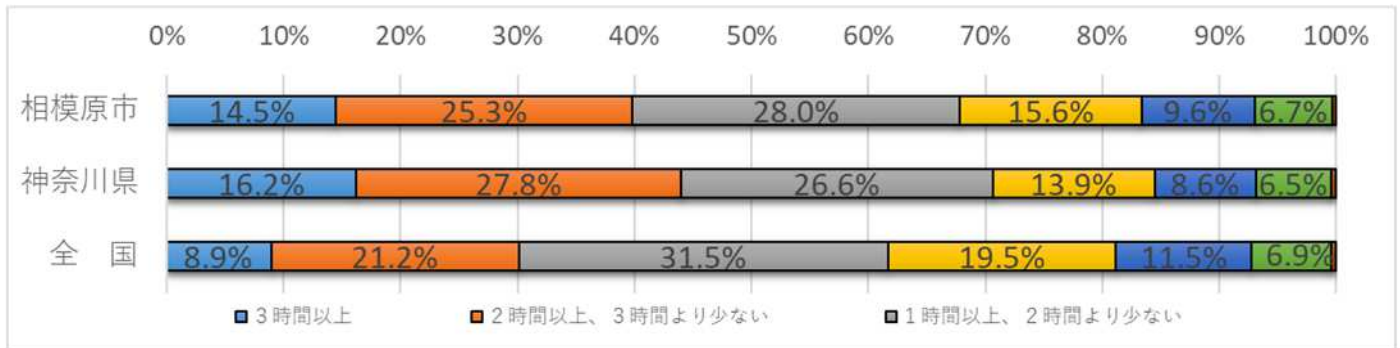
【質問】

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

〈児童〉 1時間以上と回答した児童の割合 50.3%（全国との差：+0.4%）



〈生徒〉 1時間以上と回答した生徒の割合 67.8%（全国との差：+6.2%）

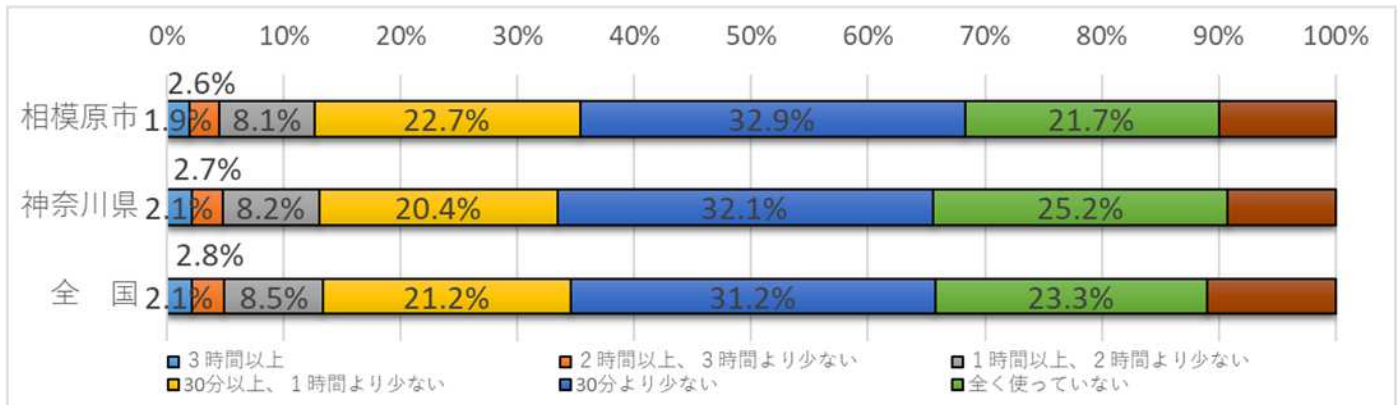


【質問】

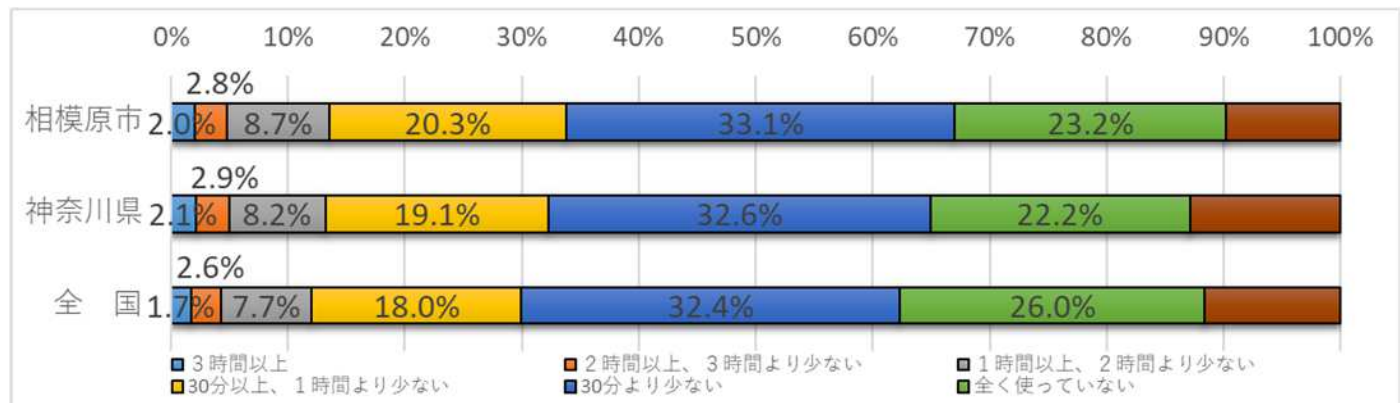
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。

※遊びなどの目的に使う時間は除く

〈児童〉 30分以上と回答した児童の割合 35.3%（全国との差：+0.7%）



〈生徒〉 30分以上と回答した生徒の割合 33.8%（全国との差：+3.8%）

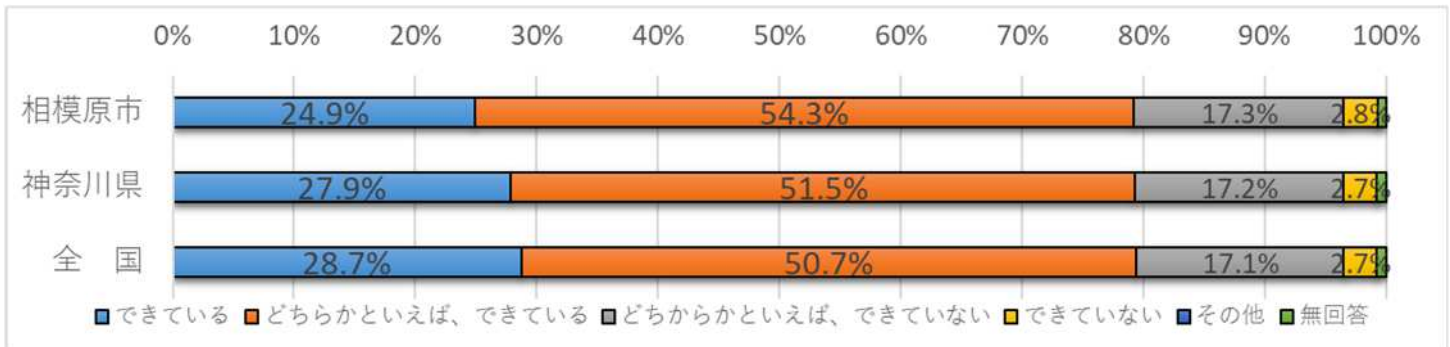


「生活習慣・学習習慣」に関すること

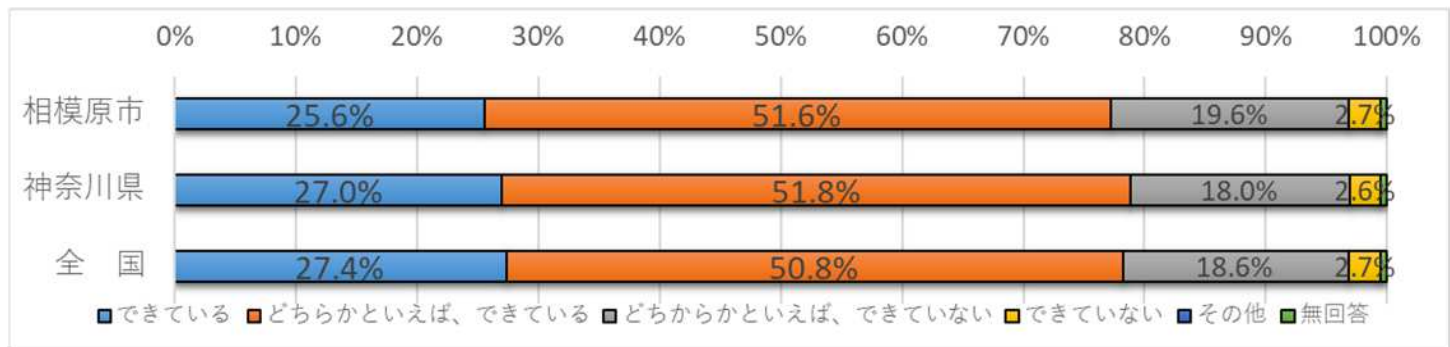
【質問】

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 79.2%（全国との差：－0.2%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 77.2%（全国との差：－1.0%）



【「生活習慣・学習習慣」に関わる回答結果より】

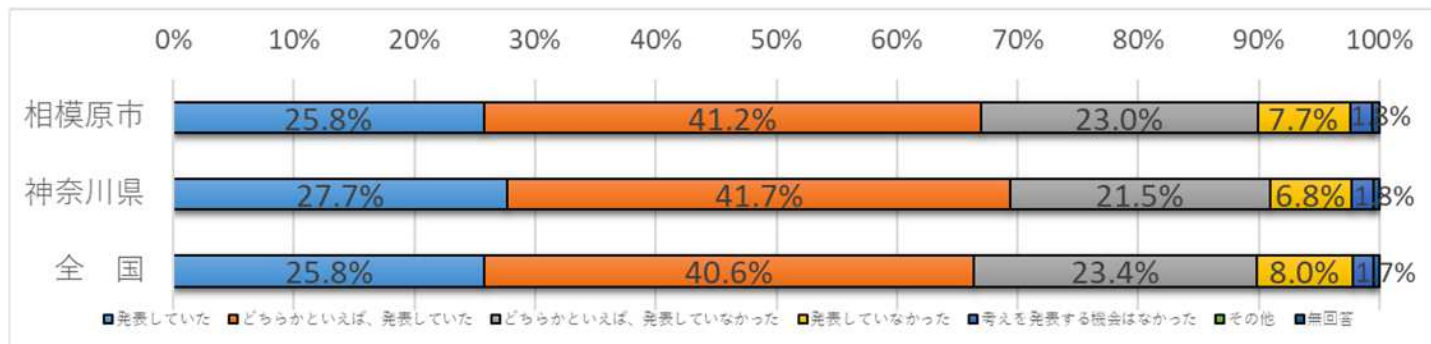
- 「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか。」に肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国と同程度であるものの、やや低くなっています。スマホやタブレットで動画等を視聴する時間（スクリーンタイム）など、日頃の生活習慣にも目を向け、規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、働きかける必要があります。
- 「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」に「1時間以上」と回答した小学生の割合は50.3%、中学生は67.8%となっています。学校で学習したことを、確実に身に付けるためには、家庭学習等で主体的に学習していくことが重要です。そのためには、学習習慣を定着させられるよう、コーディネートしていくことが大切です。学習習慣が未定着な児童生徒に対しては、学習の計画を立てさせたり、分からない課題を一緒に考えたりしながら、学習習慣を定着させるためのサポートをしていくことが考えられます。
- 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。」に30分以上と回答した児童生徒の割合は40%未満となっています。ドリルパークを使った学習やインターネットを使った調べ学習を行うことは、授業や家庭学習等においてとても有効な手段となります。積極的な活用を進めていくことが大切です。
- 朝食を毎日食べることと、各教科の正答率の間には、正の相関^{※3}がある可能性が示唆されています。

「授業への取組」に関すること

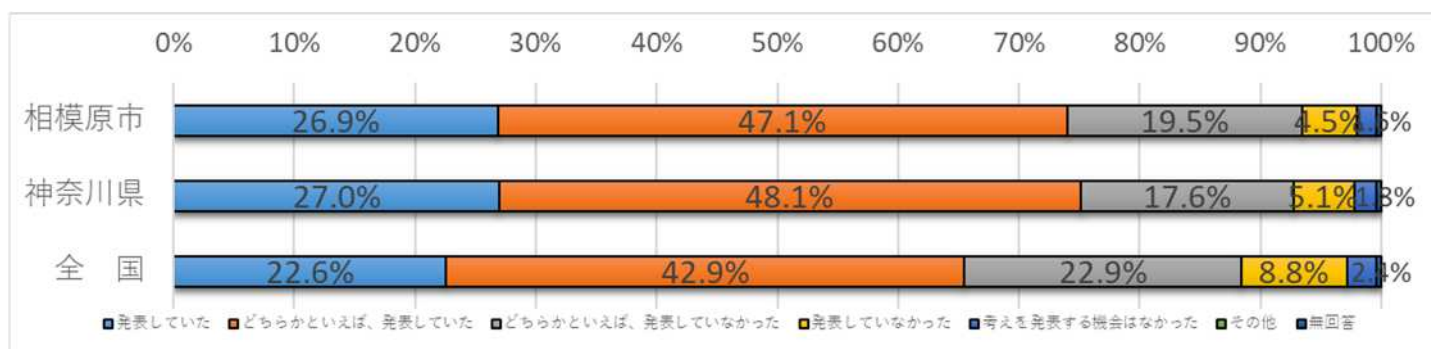
【質問】

授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 67.0%（全国との差:+0.6%）



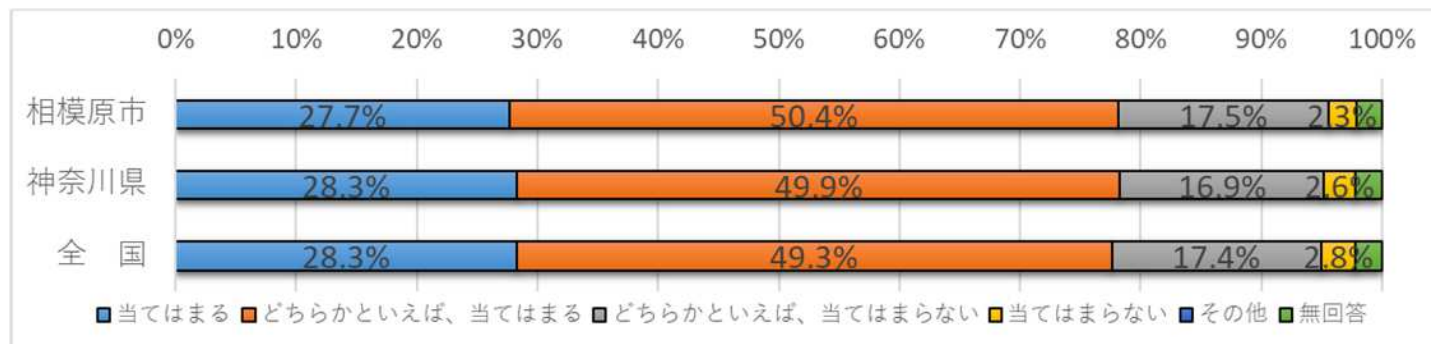
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 74.0%（全国との差:+8.5%）



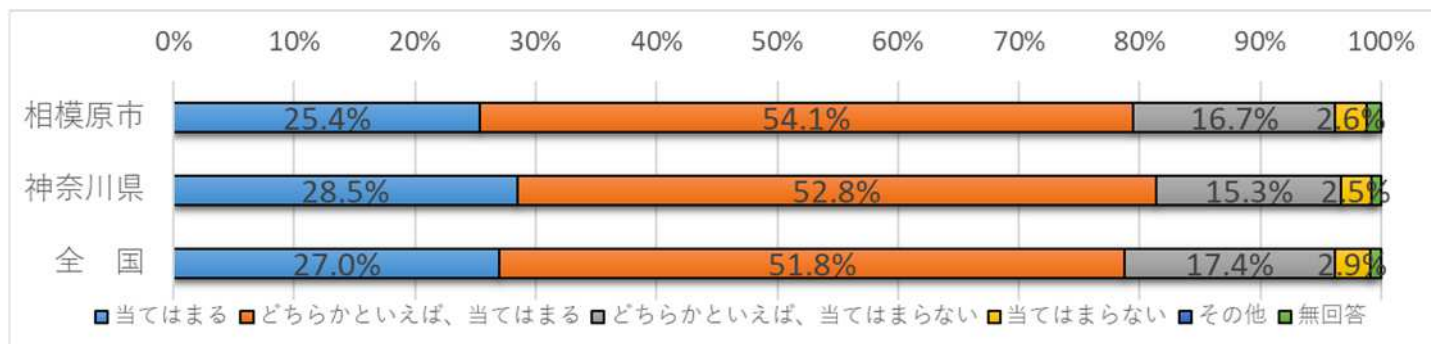
【質問】

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 78.1%（全国との差:+0.5%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 79.5%（全国との差:+0.7%）

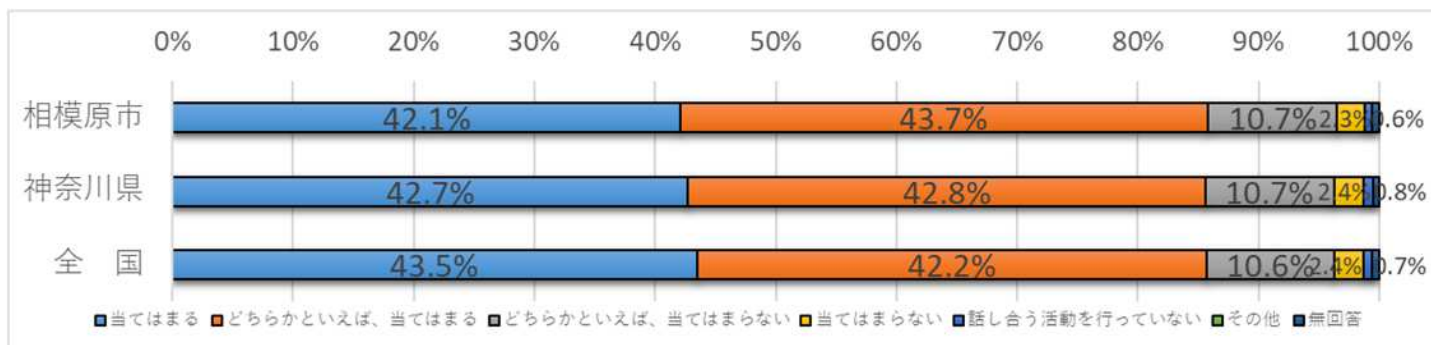


「授業への取組」に関すること

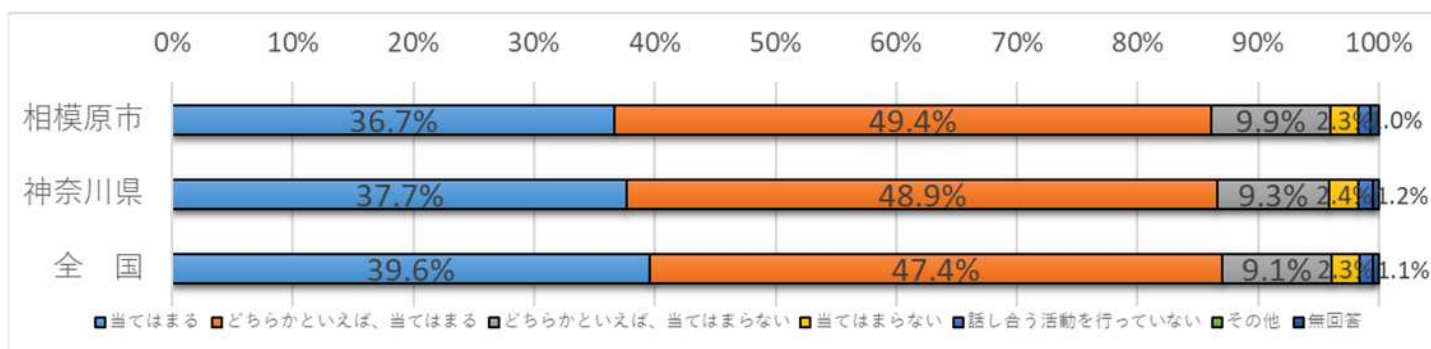
【質問】

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 85.8%（全国との差：+0.1%）



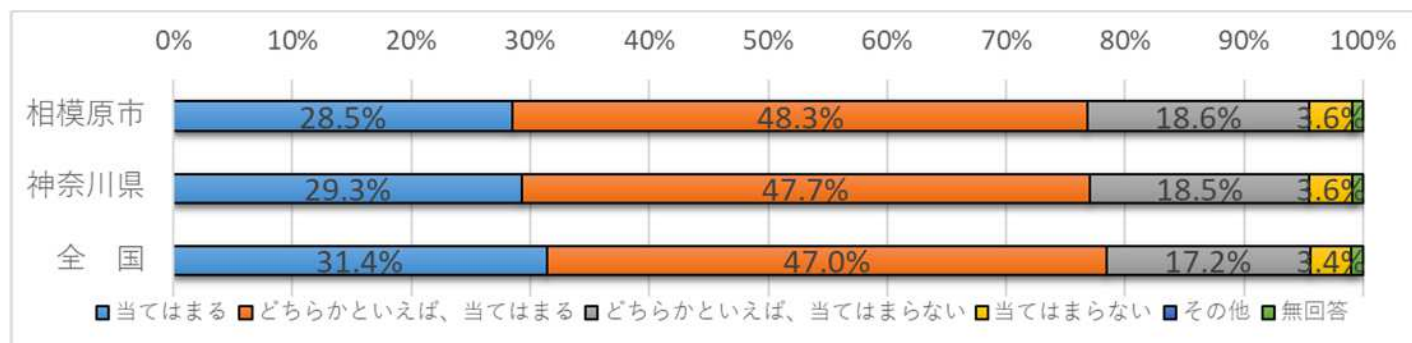
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 86.1%（全国との差：-0.9%）



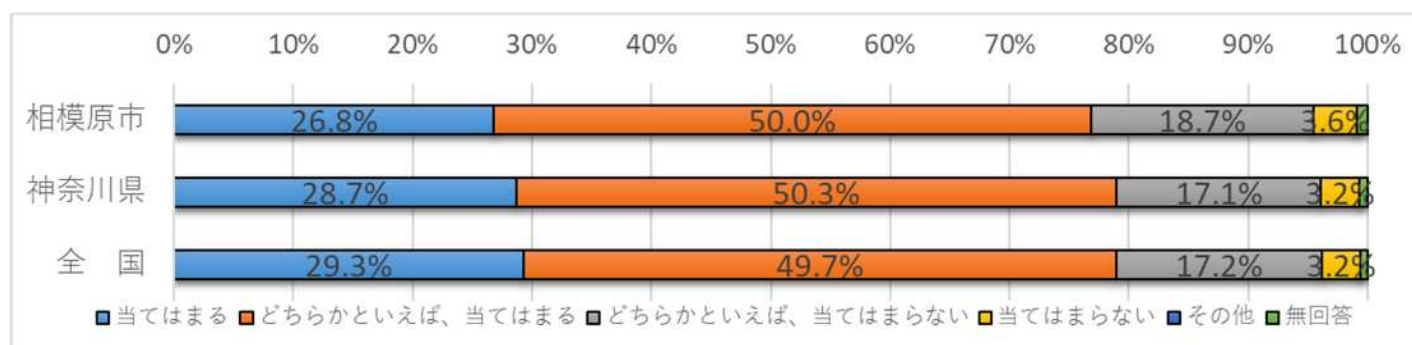
【質問】

学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 76.8%（全国との差：-1.6%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 76.8%（全国との差：-2.2%）

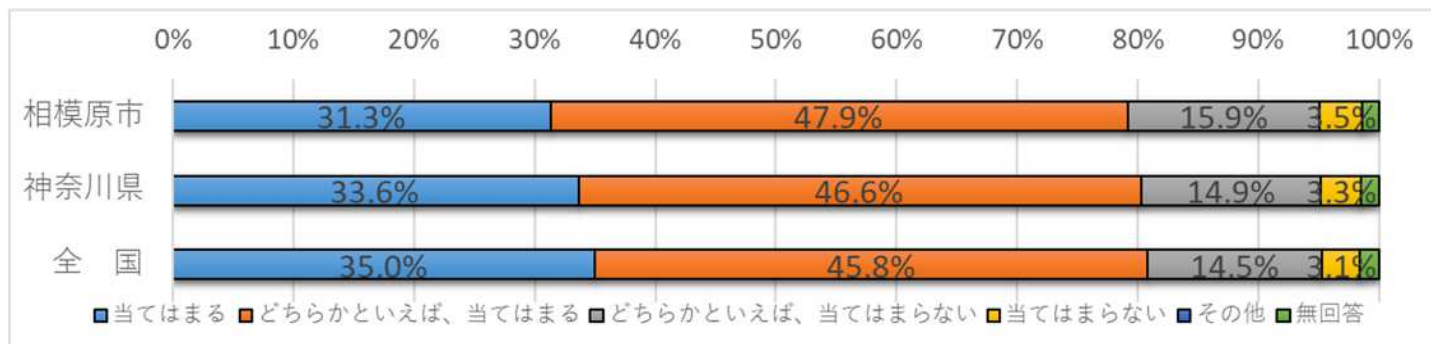


「授業への取組」に関すること

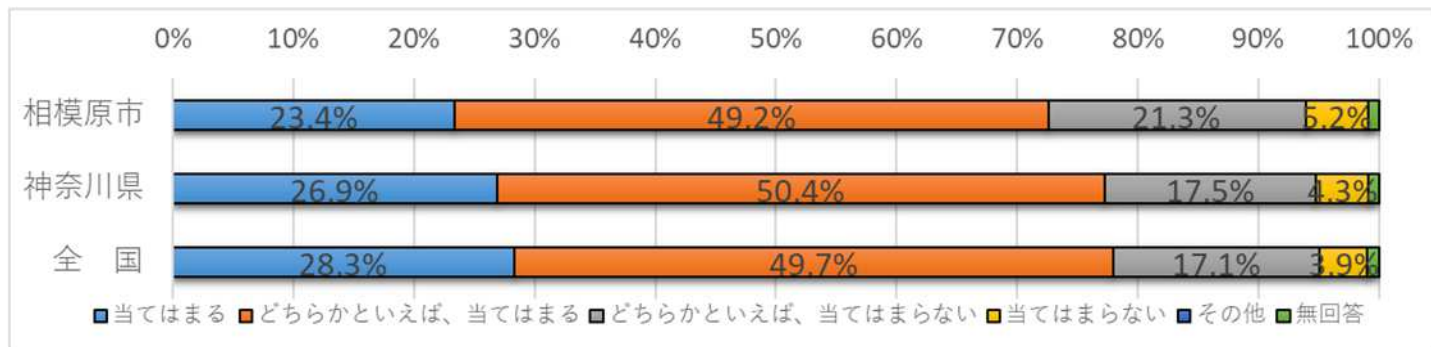
【質問】

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができていると思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 79.2%（全国との差：-1.6%）



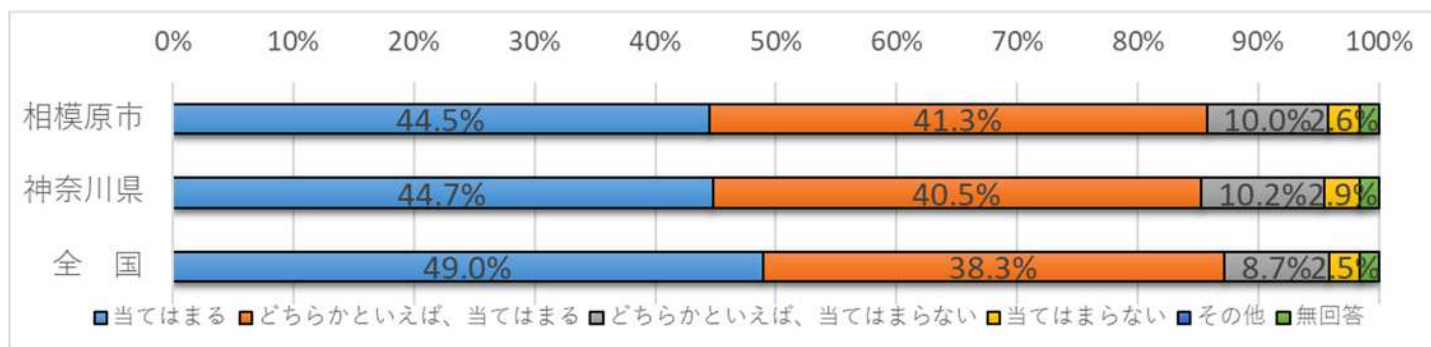
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 72.6%（全国との差：-5.4%）



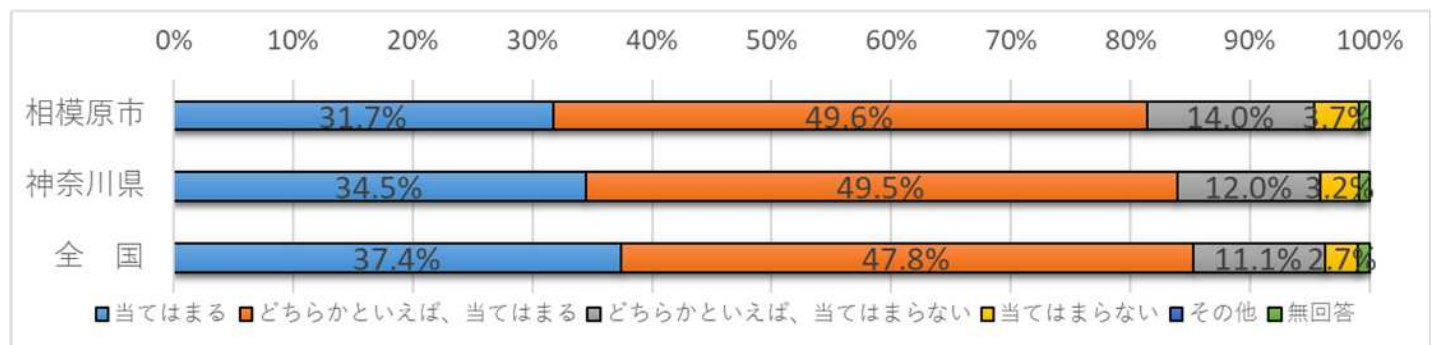
【質問】

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 85.8%（全国との差：-1.5%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 81.3%（全国との差：-3.9%）



「授業への取組」に関すること

【「授業への取組」に関わる回答結果より】

- 「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、67.0%、中学生の割合は、74.0%となりました。特に、中学生においては、全国を8.5ポイント上回る結果となっており、アウトプット中心の授業が日常的に行われていることが分かります。
- 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、78.1%、中学生の割合は、79.5%となりました。授業や課題に対し、積極的かつ主体的に取り組んでいると感じている児童生徒がやや多いことが分かります。自分で考え、自分から取り組むことが難しい児童生徒には、課題解決のための方法を具体的に提示し、自分で課題を解決できたという成功体験を味わうことができる機会を設けることが大切です。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、85.8%、中学生の割合は、86.1%となっており、どちらも高い割合を示しています。グループ活動を積極的に取り入れるなど、対話を中心とした授業が展開されていることが分かります。
- 「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」に肯定的に回答した児童生徒の割合は、76.8%、小中学校ともに76.8%となっています。学習した内容に対し、「分かった」、「分からなかった」を自覚できることは、主体的な学習を実現するために重要な要素となります。自分の学習を振り返る習慣を身に付け、自立的に学ぶことのできる子どもを育成することが大切です。
- 「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができていますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、79.2%、中学生の割合は、72.6%となっています。学んだことを次の学習や実生活を結びつけて考えることは、学びの必要性や有用性の理解につながります。また、授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができることと、各教科の正答率の間には、正の相関^{※3}がある可能性が示唆されていることから、相模原市ではこのような機会を積極的に設けていきます。
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思ういますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、85.8%、中学生の割合は、81.3%となっており、高い割合を示しています。先生方が分からないところを分かるまで教えてくれるという児童生徒の安心感を読み取ることができます。

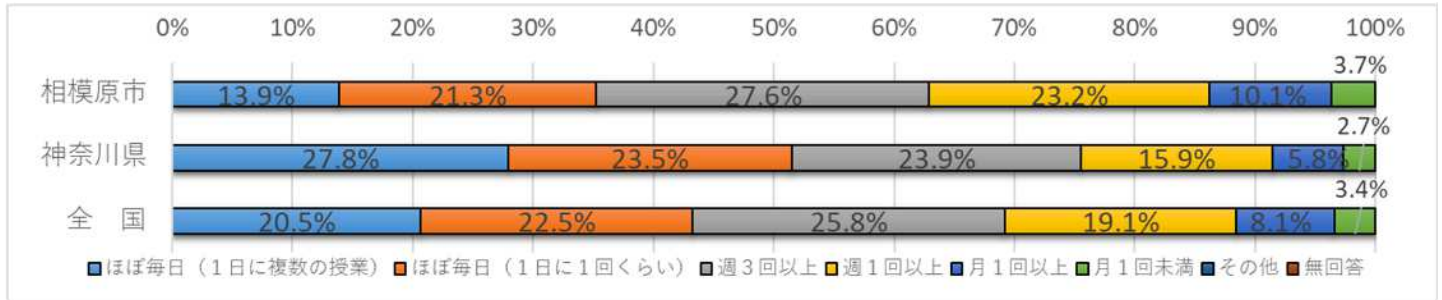
※3：ある要素が増加すると、もう一方の要素も増加するなど、2つの要素が共に同じ方向に変化する関係のこと。

「ICTの活用」に関すること

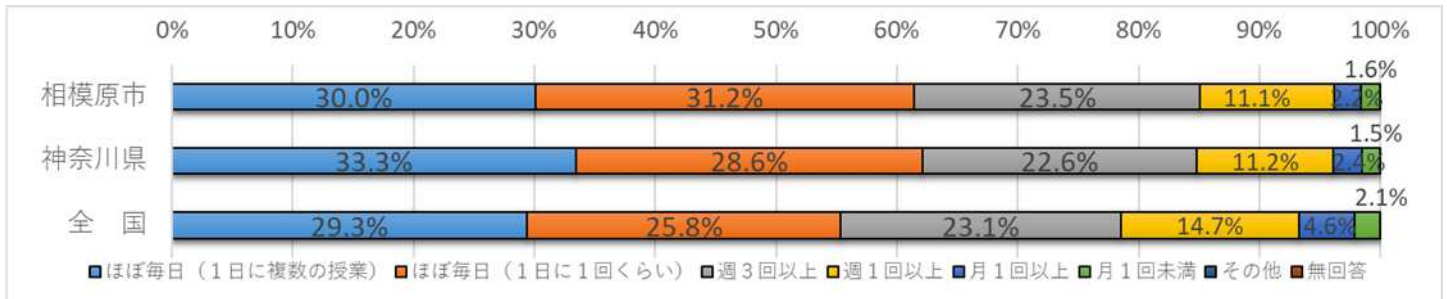
【質問】

これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

〈児童〉 週3回以上と回答した児童の割合 62.8%（全国との差：-6.0%）



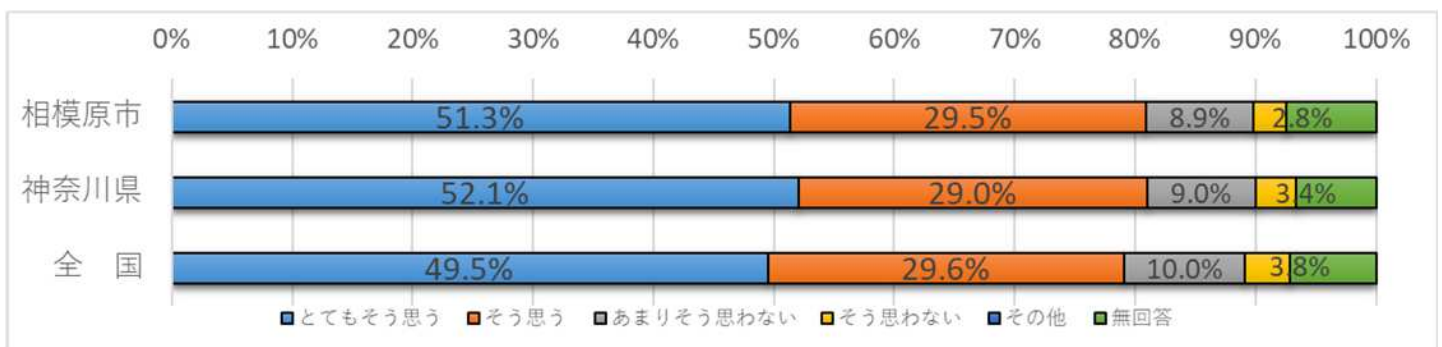
〈生徒〉 週3回以上と回答した生徒の割合 84.7%（全国との差：+6.5%）



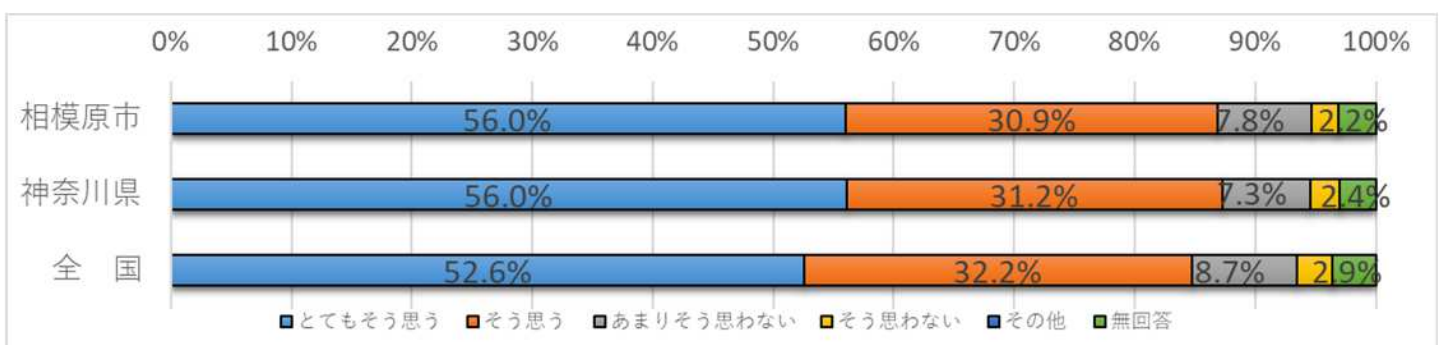
【質問】

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 80.8%（全国との差：+1.7%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 86.9%（全国との差：+2.1%）

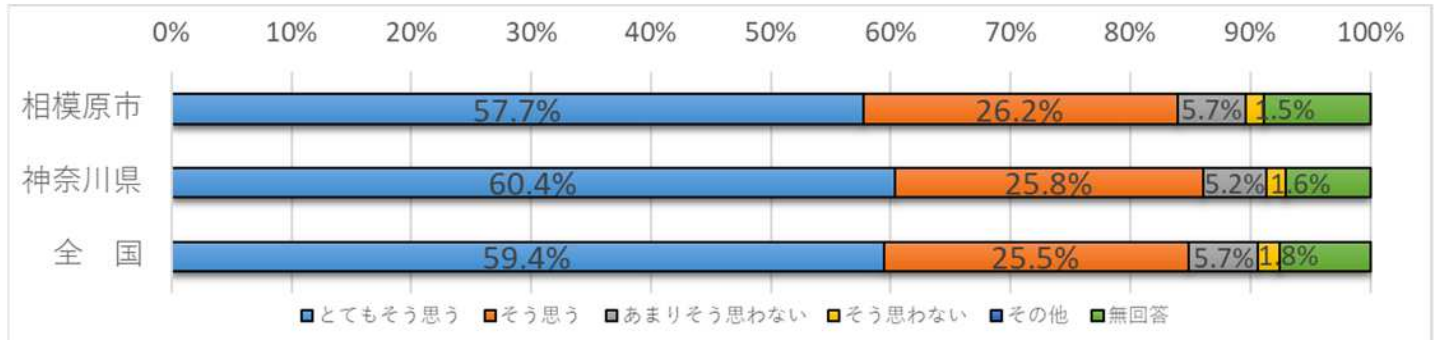


「ICTの活用」に関すること

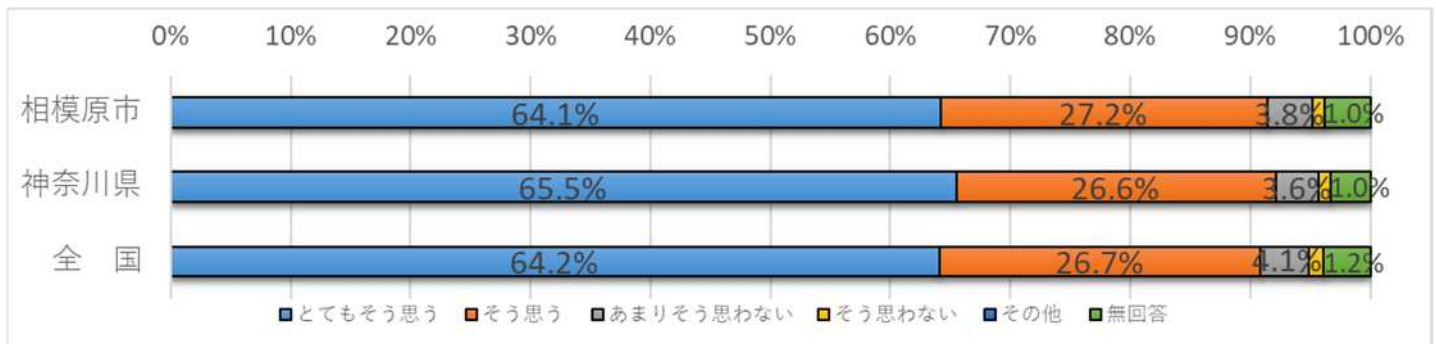
【質問】

あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 83.9%（全国との差：-1.0%）



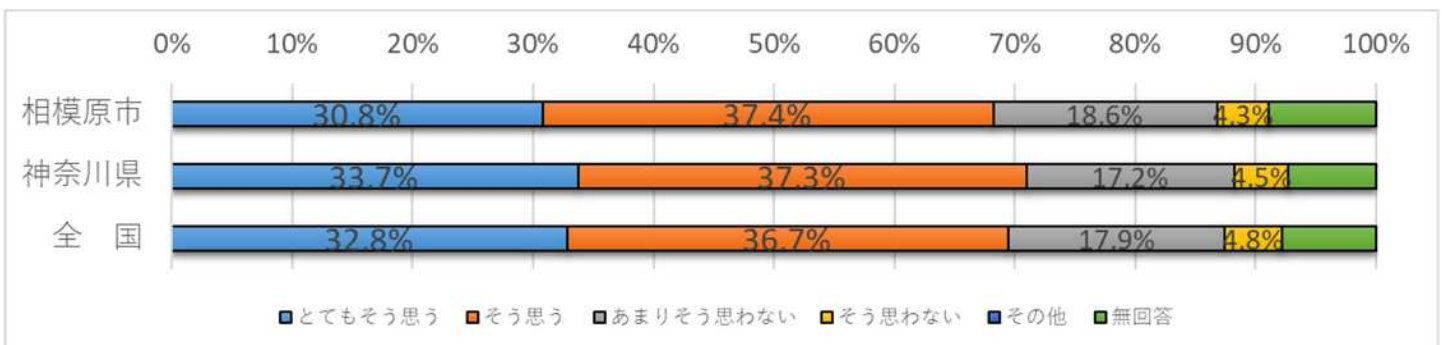
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 91.3%（全国との差：+0.4%）



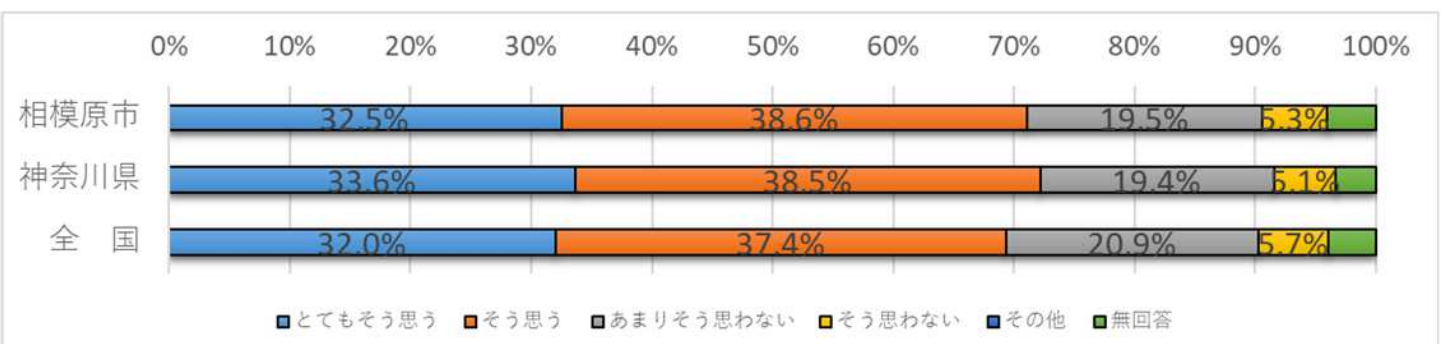
【質問】

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 68.2%（全国との差：-1.3%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 71.1%（全国との差：+1.7%）

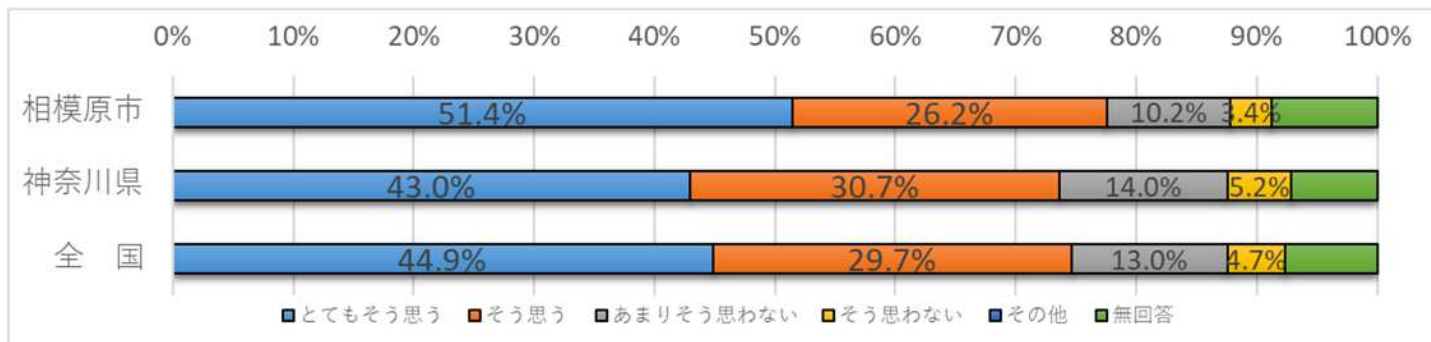


「ICTの活用」に関すること

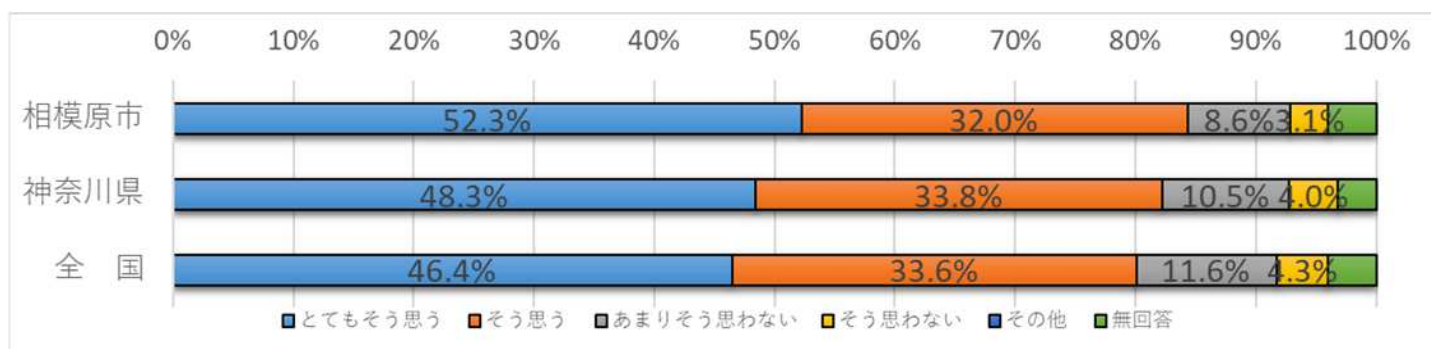
【質問】

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 77.6%（全国との差:+3.0%）



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 84.3%（全国との差:+4.3%）



【「ICTの活用」に関わる回答結果より】

- 「これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」に対し、「週3回以上」として回答した小学生の割合は、62.8%、中学生の割合は、84.7%となりました。相模原市としては引き続き、児童の発達段階に考慮しながら、ICTの積極的な活用を進めていきます。
- 「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、80.8%、中学生の割合は、86.9%となりました。小学生も中学生も、ICT機器で文章を作ることができる児童生徒が多いことが分かります。
- 「あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、83.9%、中学生の割合は、91.3%となりました。ICT機器等を活用して、分からないことを調べたり検索したりできる児童生徒が多いことが分かります。
- 国の分析からは、ICT機器を活用する自信がある児童生徒ほど、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに自分で学び方を考えて工夫したり、課題の解決に向けて自分で考えて取り組んだりしていると考えている傾向が見られます。ICT機器の活用に関心をもてるように、引き続きICTの活用を進めていきます。